

第6学年 英語活動学習指導案

平成 21 年 10 月 6・21・27 日 11 月 4・10 日

6 年 1 組 指導者 T 1 箱田 陽子

T 2 ALT

1 単元名 将来の夢を語り合おう

2 単元の考察

(1) 教材観

児童はこれまでの英語活動で、英語での簡単なあいさつや歌、英語を使ったクイズ、ゲーム、劇遊び、身近な生活場面を設定し、それにかかわる英語表現を使った活動、異文化に触れる活動や下級生との交流活動などを行ってきた。さらに、6年生になって「行ってみたい国を伝え合おう」や「コミュニケーション in 鎌倉」という単元を通して、自分の伝えたいことを伝えるための英語表現や、理由をたずねたり、答えたりする英語表現も身に付けてきた。本単元では、さらに、自己決定を繰り返しながら、一人一人の児童が、自分の将来の夢について考え、決断し、これまでの既習表現の中から言葉を選んで自分なりの伝え方で交流する。

中学校への入学を意識し始めるこの時期の児童にとって、将来の夢を具体的に考えることは、興味深くもあるが、難しいことでもある。しかし、だからこそ、児童が将来の夢について本気で考え、自分自身を振り返ることができる。そして、そのことから、自分の見方や考え方の広がりや深まりを感じ、自分のよさや可能性に気付くことができ、夢をもつわくわくする気持ちを抱くことができると考える。さらに、それぞれの夢への思いを語り合い、理解し、励まし合うことで、お互いのよさに気付いたり、新たな発見をしたりすることができ、交流の楽しさや達成感を味わえるのではないかと考える。

このように、本単元において将来の夢を語り合うことは、夢をもつことのよさや夢を交流することの楽しさや素晴らしさを体験することができ、児童にとって興味・関心が高まり、意味や価値のあるコミュニケーション活動ができると考える。そのため、本題材はコミュニケーションへの意欲をはぐくむことができる効果的な題材であると考えられる。

3. 指導・支援の方針

- ・学活と関連を図り、興味のある職業を調べ、自分を振り返る活動をしておくことで、自分のよさや、興味・関心のあることなどから、幅広く将来の夢を考えていけるようにする。また、道徳と関連させ、児童にとって身近な人の職業への思いを実際に聞き、働くことの意味を考える時間をもつことで、自分の将来の夢への思いを明確にもてるようにする。
- ・本単元では、児童の将来なりたい夢を伝えたい、聞きたいという思いを生かして交流活動ができるよう、つかむ過程、ふくらませる過程、広げる過程の三つの過程を取り入れ、それぞれの過程において自己決定の場を取り入れる。
- ・つかむ過程では、見通しをもって自分の将来の夢を考え、決断していけるように、歌を活用したり、いろいろな国の子どもたちの夢を考えたりする活動を取り入れる。また、いろいろな職業に触れな

がら、楽しく繰り返し基本の英語表現に触れるチャンツやクイズ、集中力ゲーム、ビンゴゲームなどを行い、児童が ALT の発音をたくさん聞き、自然に話せるようにしていく。

- ・ふくらませる過程では、自分の将来の夢を友達に伝えるために、既習の英語表現やジェスチャーなどを加えたり、クイズを用いたりするなどの工夫を、一人一人の児童が選んで取り入れていくことができるようにしていく。また、自分のなりたい将来の夢をやりとりする交流活動をイメージし、相手の話を聞いて、うなずきや相づちなどを返したり、聞きたいことをたずねたりするグループ活動を行うことで、一人一人の児童が交流に挑戦したい気持ちをもてるようにする。
- ・広げる過程では、デモンストレーションから、児童が豊かな交流活動をイメージして、自分なりのめあてがもてるようにする。そして、自分のなりたい将来の夢を、自分の選んだ言葉や方法でやりとりする交流活動に挑戦することで、一人一人の児童が、コミュニケーションの楽しさや達成感を味わえるようにする。
- ・全員の児童が使う基本の英語表現を精選することで、児童が無理なく今まで耳にした英語表現から使いたい言葉を選んで加えたり、相手に言ってあげたい言葉を選んで交流したりできるようにする。
- ・担任は、積極的に ALT や児童との会話を楽しみ、英語でのコミュニケーションの楽しさに児童が気付けるようにする。また、友達とかかわれない児童に対しては声をかけたり、一緒に活動したりするようにし、英語に対して苦手意識や不安をもっている児童に対しては励ましの言葉をかけ、安心して活動できるように支援する。
- ・ALT は、担任とのデモンストレーションや、音声を中心とした活動において中心となり、自然な英語の使い方や発音の仕方を児童に伝える。また、ALT の国の職業にかかわるトピックや、自身の将来の夢について伝えるなど、ゲームなどの活動で多くの児童と楽しくかかわっていくことで、児童が ALT から多くの気付きを得られるようにする。
- ・児童が自分たちの取り組む活動を具体的にイメージすることで、スムーズに活動に取り組めるように、デモンストレーションなどで実際の活動の場面を取り出して、児童に示すようにしていく。
- ・児童の様子を見取りながら、活動形態、ゲームなどのルールやヒントなどを工夫していくことで、一人一人の児童が進んで楽しく活動できるようにする。
- ・活動を振り返る時間を設定し、児童が自分の学びを振り返ったり、共有したりできるようにする。

4. 単元の目標及び評価規準

単元	将来の夢を語り合おう	
目標	将来の夢を伝え合う交流活動を通して、コミュニケーションを図る楽しさや達成感を味わう。	
	評価の観点	単元の評価規準
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	自分から進んで友達とかかわり、将来の夢を伝え合う交流活動を楽しんでいる。
	進んで表現しようとする力	簡単な英語を使って、進んで伝えたいことを伝えようとするができる。
	言語・文化への気付き	他国との言語・文化のつながりや違いに気付いている。
	国際感覚	自分や友達の将来への思いを大切にしようとしている。

第 1 時の活動

(1) 本時のねらい

将来の夢をたずね合う英語表現や、いろいろな職業の英語表現に楽しく慣れ親しみながら、自分の将来の夢を交流していくことへの見通しをもつ。

(2) 使用表現

What do you want to be ? I want to be a ~.

teacher, nurse, police officer, doctor, carpenter, scientist, soccer player, singer, florist, baker

(3) 準備

職業(10種類)を表す絵カード (大1セット 小30セット)

黒板掲示用英語表現 発見・こだわり・大好きシート お仕事シート 振り返りカード

(4) 展開

学習活動 ◇使用表現	時間	支援及び指導上の留意点		評価項目 (評価方法)						
		教師	ALT							
[Greeting & Warming up] 1. 先生や友だちと挨拶をする。 ◇ Good morning. ◇ I'm ~, and you ?	3	Good morning. How are you ? I'm ~. ・児童は自分の気持ちを言い合い、教師と ALT がそれに対する一言やジェスチャーが返せるように、児童一人一人とあいさつを交わす。	Good morning everyone. How are you ? I'm ~.							
[Presentation] 2. 会話の内容を予想しながらデモンストレーションを見て、コミュニケーションを図る時に大切なポイントを確認する。	7	・教師と ALT (小学6年生になりきって) で、将来の夢を質問したり、答えたりするデモンストレーションをする。 ・大切なポイントに気付けるように、相手を意識した表情豊かなデモンストレーションをする。								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">教師 : What do you want to be ?</td> <td style="width: 50%;">ALT : I want to be a doctor.</td> </tr> <tr> <td>教師 : Doctor ?</td> <td>ALT : Yes ! Doctor !</td> </tr> <tr> <td>教師 : Cool !</td> <td>ALT : Thank you.</td> </tr> </table>					教師 : What do you want to be ?	ALT : I want to be a doctor.	教師 : Doctor ?	ALT : Yes ! Doctor !	教師 : Cool !	ALT : Thank you.
教師 : What do you want to be ?	ALT : I want to be a doctor.									
教師 : Doctor ?	ALT : Yes ! Doctor !									
教師 : Cool !	ALT : Thank you.									
3. 夢をもつことや、夢を交流していくことへの見通しをもつ。		・デモンストレーションの内容を確認しながら、「夢」について話し合い、これから将来の夢について考えていくことや、最後に自分の将来の夢について交流活動していくことを伝え、これからの学習の見通しがもてるようにする。								
[Review & Practice] 4. 職業を質問したり、答えたりする表現を使って、クイズやチャンツをする。 ◇ What do you want to be ? ◇ I want to be a baker. ◇ teacher, nurse, police officer, doctor, carpenter, scientist, soccer player, singer, florist	7	・カタカナで表記される職業の言い方と、英語の発音やアクセントの違いに気付けるようにする。 ・職業の英語表現や、職業に関するクイズを取り入れ、他国の言語や文化に気付けるようにする。 ・英語と日本語のアクセントや発音の仕方の違いを紹介し、チャンツのよさや楽しさが味わえるようにする。 ・意欲が継続するように速さなどを変えて行う。		【言語・文化への気付き】 職業を表す英語表現の特徴や日本との文化の違いに気付いている。 (行動観察・振り返りカード)						

<p>〔Main activity〕</p> <p>5. 「職業ビンゴゲーム」をする。</p> <p>◇ What do you want to be ?</p> <p>◇ I want to be a ~.</p>	<p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの中で交流しながら活動できるように、グループの形態で取り組み、グループのチャンピオンを賞賛する活動を取り入れる。 ・楽しく活動できているか児童の様子を見て回り、支援したり、活動を変化させたりする。 ・ALT に向かって、しっかりと声を出してたずねながらゲームを進めていけるように支援する。 	<p>〔コミュニケーションへの関心・意欲・態度〕</p> <p>職業の英語表現に親しみながら、友達と楽しくコミュニケーションを図ろうとしている。(行動観察・振り返りカード)</p>
<p>「職業ビンゴゲーム」</p> <p>①職業カード9枚を選び、3×3になるように自分で考えて並べる。</p> <p>②ALTに児童が“What do you want to be?”とたずね、ALTが“I want to be a ~.”と答える。</p> <p>③ALTが答えた職業名を裏返していき、縦、横、斜めがそろったらビンゴと言う。</p>		
<p>6. ペアで協力して、「よ〜く聞いて！集中力ゲーム」をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>チャレンジしよう！</p> <p>A 順番通りに並べ替える</p> <p>B やりとりの回数を増やす</p> <p>C 速さを変える</p> <p>D カードを裏返す(重ねる)</p> <p>E 目を閉じて挑戦する</p> </div>	<p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームのやり方を児童が分かるようにALTと担任でやって見せる。 ・児童の実態や、やりたい気持ちに応じて、活動全体を変化させたり、児童に活動を選ばせたりすることで、児童一人一人が楽しめるようにする。 ・児童の様子を見て回り、支援をしたり、活動を変化させたりする。 	
<p>「よ〜く聞いて！集中力ゲーム」</p> <p>①ペアになり、職業名のカードを10枚並べておく。</p> <p>②児童がALTに“What do you want to be?”とみんなでたずね、ALTが“I want to be a ~.”と答えるやりとりを3回繰り返す。(ALTは3回とも違う職業を答える)</p> <p>③ペアで協力して、ALTが答えた職業のカードを選ぶ。(ペアで相談して、チャレンジ活動に取り組む)</p>		
<p>〔Closing〕</p> <p>7. 本時のまとめをする。</p> <p>・「発見・こだわり・大好きシート」に自分に合うと思うことや興味のあることをチェックし、それに合わせて8種類の「お仕事シート」から、自分に合ったものを受け取る。</p> <p>・振り返りカードに自己評価と感想を記入する。</p> <p>・気付いたことや思ったことを発表する。</p>	<p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員に同じものではなく、「発見・こだわり・大好きシート」を生かし、児童の興味・関心に合わせて働く人からのメッセージを渡すことで、自分らしさから、将来の夢を考えるヒントになるようにする。 ・児童が本時を振り返り、よかったことや頑張ったこと、新しく知ったことなどに気付けるよう、また、次時への見通しや意欲がもてるように助言したり、賞賛したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・“Good!” “Great!” “Wonderful!”などの言葉や、ジェスチャーを交えて児童のよかったところを賞賛する。

第1時のワークシート等

*発見・こだわり・大好きシート

「発見・こだわり・大好きシート」に自分に合うと思う項目や、興味のある項目にチェックすることで、自分のよさや自分らしさを見直すきっかけになるシート。

発見・こだわり・大好きカード

あなたはいくつあてはまる？



6— 名前

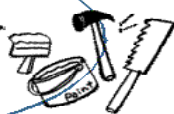
人とふれあうのが好き



体力に自信あり



一つの道をきわめたい

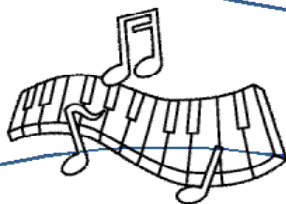
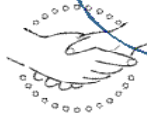


食べものに興味がある



美をつくり出したい

人を感動させたい



人を楽しませるのが好き



動物・自然・環境に親しみたい



第 2 時の活動

(1) 本時のねらい

将来の夢をたずね合う英語表現や、いろいろな職業の英語表現に楽しく慣れ親しみながら、自分の将来の夢について考える。

(2) 使用表現

What do you want to be ? I want to be a ~. nursery school teacher, dentist, comedian, photographer, fisherman, sushi chef, dancer, lawyer, zookeeper, fashion designer, vet, cabin attendant, computer programmer, sumo wrestler, cartoonist, artist, actor/actress

(3) 準備

英語ノートデジタル版 ランキング表 職業カード大 (10種類) 歌の CD
電子黒板 黒板掲示用英語表現 発見・こだわり・大好きマップ 振り返りカード

(4) 展開

学習活動 ◇使用表現	時間	支援及び指導上の留意点		評価項目 (評価方法)
		教師	ALT	
[Greeting & Warming up] 1. 先生や友だちと How are you リレーをする。 ◇ Good morning. ◇ I'm ~, and you ?	2	Good morning. How are you ? I'm ~. ・児童の様子を見て、戸惑っている児童を支援する。	Good morning everyone. How are you ? I'm ~.	
[Review & Practice] 2. 職業をたずねたり、答えたりする英語表現を使ってチャンツをする。	3	・第1時で親しんだ英語表現や職業名を、リズムにのって楽しく言えるようにする。		
What do you want to be ? I want to be a nurse. teacher, nurse, police officer, doctor, carpenter, scientist, soccer player, singer, florist				
3. いろいろな職業の英語表現を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> nursery school teacher, dentist, cabin attendant, comedian, dancer, photographer, fisher man, sushi chef, lawyer, zoo keeper, sumo wrestler, computer programmer, artist, vet cartoonist, actor/actress, fashion designer </div>	5	・英語ノート「Let's enjoy3」を使って、いろいろな職業の英語表現に親しませる。(電子黒板使用) ・職業名の英語表現を聞いて、分からない時には“What ?”とたずねることがわかるように、分りにくい職業について、ALT とやりとりをする。		
[Main activity] 4. グループで協力しながら、「みんなの夢ランキング 1 位予想ゲーム」をする。	18	・他の国の子どもたちは、どんな将来の夢をもっていると思うか投げかけ、予想させることで、興味をもって活動できるようにする。 ・ランキングをしていく中で、気付いたことを積極的に交流しながら活動するように伝える。 ・ランキングした理由や気付いたことなどを児童にたずねる。	・児童の質問に答えたり、一緒に考えたりする。	[言語・文化への気付き] 他国の子どもたちのなりたい職業に興味・関心をもっている。(行動観察・振り返りカード) [コミュニケー

「みんなの夢ランキング1位予想ゲーム」

- ①机を寄せて、4人～5人のグループに分かれる。
- ②ランキングに入っている職業の中から1位を予想する。
- ③ALTに“ What do you want to be ?”とALTに向けて、児童が声を合わせてたずねる。
- ④ALTは、“ I want to be a ～.” に続けて5位から答える。
1位なら5点、2位は4点、3位は3点、4位は2点、5位は1点とし、グループで得点を競う。
- ⑤日本の6年生男子、女子、フランス、韓国について行う。

シヨンへの関心
・意欲・態度)
自分の考えや、
気付いたことを
進んで交流し合
いながら、楽し
く活動してい
る。(行動観察・
振り返りカード)

5. 歌「Someday」を聴いて、この歌が伝えたいメッセージを考えながら聴く。

歌「Someday」のヒント
“Someday” “wish”
“My dream”
“dreams come true”

- 5
 - ・あらかじめ、いくつかのヒントを提示し、どのような内容の歌なのかを、児童が想像しやすくしておく。
 - ・この歌が伝えたいメッセージを考えながらじっくりと聴くように児童に伝える。
 - ・ペアで話し合ったり、歌の内容を確認したりする時間をもつ。
 - ・児童の様子を見ながら、ALTに発音してもらい、一人一人が抵抗なく聴けるようにする。
 - ・必要に応じて、ジェスチャーを交えながら、分かりやすく発音をする。

6. 友達の将来の夢を聞いた時に、言ってあげたい言葉を考え、ペアでやりとりをする。

- 5
 - ・デモンストレーションでやりとりの様子を示し、相手の話に、言葉やジェスチャーを返すことの大切さに気付けるようにする。
 - ・言った自分も、言ってもらった相手も嬉しくなる『魔法の言葉 Magic words』として、児童が聞いたことのある簡単な英語表現の中から、児童が言いたい表現を選べるように、精選して提示する。
 - ・自分で言いたい表現を三つ選んで、ペアで向かい合い、やりとりを体験してみることで、魔法の言葉のよさに気付けるようにする。

〔Closing〕

7. 本時のまとめをする。
・興味をもった職業について、「ある日の仕事人シート」を受け取る。
・自分の「発見・こだわり・大好きマップ」に今日の授業で興味をもった職業を書き足したり、マークなどを付けたりする。
・振り返りカードに自己評価と感想を記入する。
・気付いたことや思ったことを発表する。

- 7
 - ・本時で扱った職業の中から、児童の興味に合わせて、働く人の一日が分かるシートを渡すことで、自分の将来の夢を考えるヒントになるようにする。
 - ・「発見・こだわり・大好きマップ」に興味をもった職業を付け足したり、強く興味をもったものには色やしるしを付けたりして、自分の気持ちが見てわかるように表現させる。
 - ・児童が本時を振り返り、よかったことや頑張ったこと、新しく知ったことなどに気付けるよう、また、次時への見通しや意欲がもてるように助言したり、賞賛したりする。
 - ・“Good!” “Great!” “Wonderful!”などの言葉や、ジェスチャーを交えて児童のよかったところを賞賛する。

第2時のワークシート等

* 発見・こだわり・大好きマップ (道徳の時間に作成し、英語活動で書き加える)

- ① 自分の好きなものや得意なことをマッピングする。
- ② マッピングしたものに、興味のある職業を書き加える。
- ③ 英語活動の時間に、色を付けるなどしながら興味をもった職業を書き加える。

発見・こだわり・大好きマップ

6年 組 名前

* 夢ランキング 1 位予想ゲーム

みんなの夢ランキング ☆ 一位を予想しよう ☆		点
班 協力してチャレンジ！ 票付いたことも話し合えたら最高！ 合計		
日本男子		
点		
日本女子		
点		
韓国の子ども		
点		
フランス男子		
点		
フランス女子		
点		

【日本男子】

日本男子	Game director ゲームディレクター
日本男子	Soccer player サッカー選手
日本男子	Professional baseball player プロ野球選手
日本男子	Builder 建築士
日本男子	Professor 教授

【日本女子】

日本女子	Pastry chef (Patisserie) パティシエ
日本女子	Beautician 美容師
日本女子	Nursery school teacher 保育士
日本女子	Novelist 小説家
日本女子	Flower designer フラワーデザイナー

【韓国の子ども】

韓国	Teacher 教師
韓国	Doctor 医者
韓国	Entertainer 芸能人
韓国	Player スポーツ選手
韓国	Professor 教授

【フランス男子】

フランス男子	ingenieur (アンジェニール) エンジニア
フランス男子	Pilote d'aviation (ピロットダヴィオン) パイロット
フランス男子	Commercial (コムルシアル) 営業・販売関連
フランス男子	Informaticien (アンフォルマティシアン) 情報処理技術者
フランス男子	Professeur (プロフェスール) 中学生以上の教師

【フランス女子】

フランス女子	Professeur (プロフェスール) 中学生以上の教師
フランス女子	Journaliste (ジュルナリスト) ジャーナリスト
フランス女子	Actrice (アクトリス) 女優
フランス女子	Avocate (アヴォカトウ) 女弁護士
フランス女子	Medecin (メドサン) 医者

第 3 時の活動

(1) 本時のねらい

将来の夢を友達と伝え合うために、伝えたい具体的な内容や方法を考え、グループでやりとりし合う。

(2) 使用表現

What do you want to be ? I want to be a ~. Why? Because I like (I want to) ~.

(3) 準備

職業(10種類)を表す絵カード(大1セット) 黒板掲示用英語表現 クイズの得点表
 将来の自分を描いた絵 発見・交流・大好きシート 振り返りカード

(4) 展開

学習活動 ◇使用表現	時間	支援及び指導上の留意点		評価項目 (評価方法)
		教師	ALT	
〔Greeting〕 1. 先生や友達と Ciao ! (イタリア語) であいさつをする。	3	Good morning. Ciao !	Good morning everyone. Ciao !	
〔Warming up & Review〕 2. 職業をたずねたり、答えたりする英語表現を使ってチャンツをする。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が安心して取り組めるように、英語表現を確認してから行う。 ・絵カードを使いながら、リズムに合わせて楽しく言えるようにする。 		
What do you want to be ? I want to be a nurse. teacher, nurse, police officer, doctor, carpenter, scientist, soccer player, singer, florist				
3. 『Guess what.』クイズで、職業をあてる。 ◇ “Guess what.” ◇ I like ~. ◇ I want to ~.	15	<ul style="list-style-type: none"> ・“I like ~.” や “I want to ~.” を使って、ALT がヒントを出すことを伝えておき、児童がその意味や使い方を意識して聞くことが出来るようにする。 ・ペアの友達に、気持ちをこめて正解したことを伝えることができるように声をかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の様子を見ながら、ヒントをゆっくりと発音して聞かせる。分からない児童が多ければ、ジェスチャーも交えながら言う。 ・クイズにチャレンジしている児童を、ジェスチャーを交えながら、ほめたり、励ましたりする。 	
「Guess what.」クイズ ①児童は隣同士で向かい合う。教師は教室の右側に立ち、答えの絵カードを持つ。ALT は教室の左側に立つ。 ② ALT が見える (教師は見えない) 児童 A は、ALT に “What do you want to be ?” とみんなでたずねる。 ③ ALT は “Guess what. Hint No.1” と言って I like ~. や I want to ~. を使って教師の持つ答えのヒントを出す。 ④ A は、答えがわかったら、回りに聞こえないように B に答えの職業を言う。 ⑤ 合っていたら、B は、Yes! や That's right! と言ったり、A に言葉をかけたりする。(例) Good! Wonderful! ⑥ 違っていたら、B は、自分でジェスチャーや日本語などを使って、Hint No.2 を考えて A に出す。 ⑦ 3問終わったら ALT と担任の場所を入れかえて、A と B の役割を交代する。				

<p>〔Main activity〕</p> <p>4. 知っていたり、言いたいと思う英語表現を使って、自分の将来の夢を伝える方法を考える。</p> <p>◇ Why ?</p> <p>◇ Because I like ~.</p> <p>Because I want to ~.</p> <p>・「発見・交流・大好きシート」に、英語で伝えたい内容には二重線、日本語で伝えたい内容には棒線を記入したり、クイズのやり方を記入したりする。</p> <p>・ALT やグループの友達と交流しながら、やりとりの練習をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>〈夢を伝える方法を考えよう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クイズを取り入れる ・実物を見せる ・『将来の自分』の絵を見せる ・英語で伝える ・日本語で伝える ・ジェスチャーをつける </div>	<p>15</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学活の時間を使って、描いておいた「将来の自分の絵」や、記入しておいた「発見・交流・大好きシート」に、交流をイメージしながら伝えたい具体的な内容や方法を加えていくようにする。 ・これまでの英語活動を想起させ、理由をたずねたり答えたりする時に“Why?” “Beaus~”が使えることに気付かせる。 ・グループで助け合い、協力し合いながら、活動するように声をかける。 ・分からないことは、積極的に ALT や教師に質問するように伝える。 ・できたグループから、練習を始めるように伝えておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きくジェスチャーを交えながら、“Why ?” “Because ~” を使ったやりとりをしてみせる。 ・グループを回り、児童の質問に答えたり、分かりやすくゆっくりと発音して聞かせたりする。 ・進んで児童に声をかけ、全員の児童とかわられるようにする。 	<p>【進んで表現しようとする力】簡単な英語を使って自分の将来の夢の伝え方を考え、進んで友達に伝えようとしている。 (行動観察・ワークシート・振り返りカード)</p>
<p>〔Closing〕</p> <p>7. 本時のまとめをする。</p> <p>・振り返りカードに自己評価と感想を記入する。</p> <p>・気付いたことや思ったことを発表する。</p>	<p>7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が本時を振り返り、よかったことや頑張ったこと、新しく知ったことなどに気付けるよう、また、次時は、さらに楽しく将来の夢を交流できるように活動していくことを伝え、見通しや意欲がもてるように助言したり、賞賛したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・“Good!” “Great!” “Wonderful!” などの言葉や、ジェスチャーを交えて、児童のよかったところをほめたり、励ましたりする。 	

第3時のワークシート等

* 『Guess what』クイズの得点表
(ペアで使用する)

“Guess what”				
name	1	2	3	チャレンジ
name	1	2	3	チャレンジ
合計				点

☆ヒントNo.1で答えられたら3点、ヒントNo.2なら2点、ヒントNo.3なら1点
☆英語で答えられたら、さらにプラス2点

* 発見・交流・大好きシート（学級活動の時間に記入し、英語活動の時間に書き加える）

発見・交流・大好きシート

6年 組

夢の魅力を伝え合おう!

What do you want to be ?

将来の夢に向ける自分の思い

<友達に聞いてみたいこと>メモ

Thank you. THANKS!	魔法の言葉 MAGIC WORDS!	I'm sorry. TAJAPU!
Do your best! DYNAST!	You can do it! KODOSHITOMU!	
Wonderful! WONDERFUL!	Good luck! GOOD LUCK!	Super! SUPER!
Excellent! EXCELLENT!	Wow! WOW!	Fantastic! FANTASTIC!
Really? REALLY?		Great! GREAT!
Good! GOOD!		Cool! COOL!

* 将来の夢を伝える具体的な内容や伝える方法、交流の仕方を考えるワークシート

将来の夢の
伝え方を考えよう

- 英語で言いたい **==**
- 日本語でもっと伝えたい **——**
- クイズを出す
ヒント NO.1~空いている所にメモ
- 将来の絵
いつ見せるか
絵を使って説明したいことなどをメモ
- 実物
何を準備するか どこで見せるか

☆将来の夢をこんなふうに語り合いたい! ☆

大切にしたい!
心かけたいこと
伝える ⇄ 受け取る

第 4 時の活動

(1) 本時のねらい

将来の夢の交流の仕方を考え、グループで協力しながらやりとりし合う。

(2) 使用表現

What do you want to be ? I want to be an astronaut. Why? Because I like (I want to) ~ .

(3) 準備

職業の絵を四つに切ったカード（児童数に合わせる） 発見・交流・大好きシート

黒板掲示用英語表現 振り返りカード


(4) 展開

学習活動 ◇使用表現	時間	支援及び指導上の留意点		評価項目 (評価方法)
		教師	ALT	
〔Greeting & Warming up〕 1. 先生や友だちと他の国の言葉であいさつをし合う。	2	Good morning. ナマステ（ヒンディー語）	Good morning . ナマステ	
〔Review&Practice〕 2. 3ヒントクイズで“astronaut”を当て、それを使ってチャンツをする。 ◇ What do you want to be ? ◇ I want to be an astronaut. ◇ Why? Because ~ .	3	・児童が ALT の発音をしっかりと聞くように、どんな職業かを予想させながら、“astronaut”を何度か発音してもらい、考えさせるようにする。	・ゆっくりと分かりやすく“astronaut”を発音する。 ・ジェスチャーをつけながらヒントを出す。	
〔Main activity〕 3. 『仲間 Go !』ゲームに取り組み、協力して活動する。	10	・仲間と協力して活動できるように声をかける。 ・活動の仕方が分からない児童と一緒に活動したり、協力して活動している児童をほめたりする。 ・全員が自信をもって取り組めるよう、職業名や理由は、日本語でもよいことを伝えておく。	・たくさんの児童に声をかけ、質問に答えたり、一緒に理由を考えたりして活動する。 ・児童の頑張りを認め、ほめる。 ・児童が言いやすいように、声を合わせるタイミングをリードし、お手本を示す。	〔コミュニケーションへの関心・意欲・態度〕友達と協力しながら楽しく活動している。（行動観察・振り返りカード）

『仲間Go !』ゲーム

- ① 『Guess what.』BOX から一人一枚のカードをとる。（何種類かの職業の絵のそれぞれを四つに切ったものを、児童が一枚ずつ取れるように準備して箱の中に入れておく）
- ② “What do you want to be ?” とインタビューをし合いながら同じ職業の絵を持った仲間をさがす。
4人仲間がそろって絵が完成したら、その場に座って、その職業になりたい理由を相談する。
- ③ 職業の仲間ごとに順番に立つ。ALT と残りの座っている児童で “What do you want to be ?” “Why ?” とたずねる。
- ④ 立っている職業の仲間と声を合わせて、“I want to be a ~.” “Because ~” と答える。
- ⑤ ALT と他の座っている児童は、Great ! や Wonderful ! などの言葉をかける。

<p>4. 将来の夢を伝え合うデモンストレーションを見て、やりたい交流の仕方を考える。</p>	10	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がどんな交流にしたいかを豊かな発想で考え、自分のやりたい交流の仕方を選び、大切にしたいことを考えられるように、デモンストレーションをする。 	
<p>ALT : Hello! What do you want to be ? 教師 : I want to be a florist. ALT : Florist ? 教師 : Yes. I want to be a florist. (言った後に、夢ファイルの絵を見せる) ALT : Good ! Why ? 教師 : Because I like flowers very much . 実物を見せて Good smell ! 日本語 ALT : Excellent ! 教師 : Thank you! ALT : What flower is good ? 教師 : I'm sorry. What? ALT : 何の花が好きですか 教師 : たくさんあるけれど、I like a rose and a cosmos very much. ALT : Wonderful ! Good luck! 教師 : Thank you.</p>			
<p>5. 自分がやりたい交流の仕方をグループの中で協力してやりとりをし合う。</p> <div data-bbox="167 801 574 1160" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>コミュニケーションのポイント</p> <p>☆目と目を合わせる Eye contact</p> <p>☆笑顔 Smile</p> <p>☆ジェスチャー Heart & Gesture</p> </div>	15	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の夢への思いが相手によく伝わるように、交流の仕方を工夫するように声をかける。 ・楽しく夢を交流するために、コミュニケーションのポイントや、ほめたり励ましたりする言葉に気付くようにし、心がけたいことを一人一人が考える時間をとる。 ・違うグループの友達を気にせずやりとりができるように、離れた場所で活動できるようにする。 ・自分がやりたいと思う交流をグループの中でやりとりし、アドバイスをしてもらったり、互いのよいところを取り入れたりできるようにする。 ・聞き手としても「大切にしたいこと」を心がけるように伝える。 ・児童の活動の様子を見て、戸惑っている児童と一緒に活動したり、グループで協力できるように声をかけたりする。 ・グループを回って一人一人の児童に声をかけ、質問に答えたり、励ましたりする。 	<p>(進んで表現しようとする力) 簡単な英語を使って、将来の夢の伝え方を考え、進んで伝えようとしている。(行動観察・ワークシート・振り返りカード)</p>
<p>〔Closing〕</p> <p>6. 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードに自己評価と感想を記入する。 ・気付いたことや思ったことを発表する。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が本時を振り返り、よかったことや頑張ったこと、新しく知ったことなどに気付けるよう、また、次時は、楽しく将来の夢を交流できるように助言したり、励ましたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・“Good!” “Great!” “Wonderful!” などの言葉や、ジェスチャーを交えて児童のよかったところをほめたり、励ましたりする。

<p>[Review&Practice]</p> <p>5. 将来の夢を語り合う時の英語表現などをペアで向かい合い、やりとりする。</p> 	<p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人が交流で大切にしたいことを意識しながら取り組めるように声をかける。 大切なやりとりの場面を取り出して、ジェスチャーを交えながら、ペアでやりとりさせる。 心を込めたやりとりができているペアをほめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童のお手本となるように、表情豊かなジェスチャーを交えたり、児童が言いたくなるように、ほめたり励ましたりする言葉を使ったりする。 	
<p>[Main activity]</p> <p>6. 将来の夢をいろいろな友達と語り合う交流活動をする。交流の最後に、『夢カード』やメッセージの交換をする。</p>	<p>25</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の様子を見て回り、活動にうまく取り組めない児童には、発話を支援したり、励ましたりしながら一緒に活動する。 気持ちを込めてやりとりをしている児童をほめたり、ALT やいろいろな友達と交流できるように声をかけたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ALT とのやりとりを通して、児童が英語を使う楽しさを味わったり、自信をもって活動したりできるように、進んで児童に声をかけ、たくさんの児童とかわかれるようにする。 児童が交流で頑張っていることや、よかったことをほめ、励ます。 児童の将来の夢に向けて、励ましの言葉をかける。 	<p>(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)</p> <p>進んで友達とかわり合い、将来の夢を伝え合う交流活動を楽しんでいる。(行動観察・振り返りカード)</p> <p>(国際感覚)</p> <p>自分や友達の将来の夢のよさに気付く、大切にしようとしている。(行動観察・振り返りカード)</p>
<p>[Closing]</p> <p>7. 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 振り返りカードに自己評価と感想を記入する。 友達と将来の夢を伝え合っ気付いたことや思ったことを発表する。 	<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が本時を振り返り、自分や友達のよかったことや頑張ったこと、新しく知ったことなどに気付けるように助言する。 児童の頑張りを認め、英語表現も交えながらほめたり、励ましたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が頑張ったことやよかったところを言葉やジェスチャーを使って、ほめたり、励ましたりする。 	

